

## 「地域を愛し、地域と共に歩み、地域繁栄に貢献する」 工場進出を一貫して請負うウィン・ウィンのビジネスモデル

1975年、西尾市にて創業。現在は「地域を愛し、地域と共に歩み、地域繁栄に貢献する」経営理念のもと、土木工事、砕石・生コン製造販売を主力事業として建設業界で広く認知されている企業である。地主との用地取得交渉から開発申請・土地造成完了までの一貫体制を構築しており、地域企業の工場進出の一翼を担っている。最近では木質灰のリサイクル事業にも参入し、木質バイオマス発電所から出る焼却灰を再利用することで、循環型社会の実現を目指しており環境問題への取組にも熱心である。

所在地	愛知県西尾市吉良町岡山背撫山4番地5	設立	1986年
電話/FAX	0563-35-3121/0563-35-2802	資本金	3,500万
URL	http://www.daisen-g.com/	従業員数	91名
代表者	代表取締役 大山 徳龍		



### 工場用地取得から造成までの一貫工事体制および環境問題への取組

同社内では砕石、生コン、土木工事の各部門があり、創業以来積重ねた高い技術力で、工場用地造成工事を一貫して請負う体制を構築している。また、自社の砕石工場や生コン工場を保有しているため、材料調達を同社内で完結でき、近隣業者より価格面での優位性を保持している。直近では環境問題への取組として、同社工場の砕石に含まれるケイ素を農業用肥料に加工するバイオ事業や木質バイオマス発電所から発生する焼却灰を再利用しているなど地域の循環型社会実現に向け取り組んでいる。



鉱工業向けまだらめ工場プラントイメージ

### 地域貢献の一貫した理念のもと、事業意欲旺盛な経営者

経営者は2009年社長就任後、人のために尽くしたいという利他の心を大切に「地域に必要とされる企業」を目指し、強力なリーダーシップを発揮してきた。元々は建設業界向けの砕石販売を主業としていたが社長就任後は砕石販売先を鉱工業向けに転換した。その後、生コン自社製造に進出し、これらの同社保有のリソースを生かし工場用地造成の一貫体制を構築した。また地域貢献の想いから地元農業研究者と連携し肥料を開発、日本の農業のあり方を変えたいという理念のもと、経営を行っている。



重機と重ダンプ

### 次世代のために～木質バイオマス発電所焼却灰のリサイクル事業

脱炭素社会に向け再生可能エネルギーの一つである「木質バイオマス発電所」から出る焼却灰は今まで多くは最終処分場に埋立処分されていた。それを最終処分せずにリサイクルすることは全国の最終処分場の延命化に貢献し、循環型社会の構築にも資する。同社で特許も取得し全国各地にノウハウを提供している。



八戸バイオマスプラント